



インドスタディツアーレポート

# インド人財と共に働くために 考えたい3つの課題

ワンダライフ LLP 代表 林田香織

# ながれ



## インド概要

- 文化や人財の特徴
- 日本で働くに至る背景



## ツアーを通して見えてきた3つの課題

1. 雇用情報の不足
2. ライフキャリア教育の不足
3. 人権保護意識の不足

## Question

インドと聞いてどんなイメージが浮かびますか？

### 01 地理



### 02 人



### 03 宗教



# インド概要

## 北インド

民族：アーリア系  
宗教：ヒンドゥ教 イスラム教 シク教  
食文化：小麦文化



## 南インド

民族：ドラヴィダ系  
宗教：ヒンドゥ教 イスラム教 キリスト教  
州によってはキリスト教が多い  
食文化：米文化

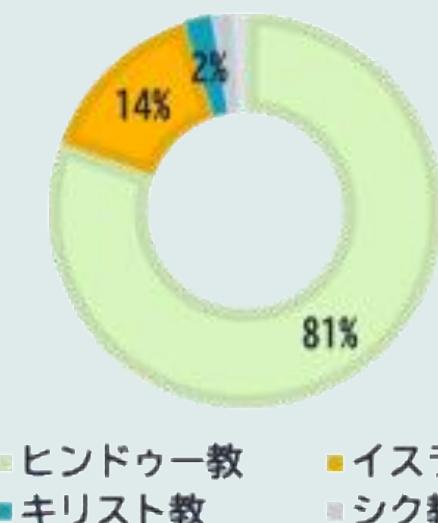


## 北東インド

民族：モンゴロイド系  
宗教：ヒンドゥ教 キリスト教 イスラム教  
ナガランドはキリスト教が8割  
食文化：米文化



主な宗教の割合  
インド全体



## 言語

国家レベルの公用語  
・ヒンディー語  
・英語

州レベルの公用語  
・22言語

## 種族ごとの言葉

地域・州・街・種族・宗教ごとに違いあり  
知る→参考程度にとどめる→対話による理解が大事

## インド概要

なぜインドから日本を目指すのか？



## 若者の雇用課題

- ・ 大学を卒業しても雇用がない
- ・ インド国内 = 賃金が低い & 生活費が高い
- ・ 出身地域によっては差別がある場合も
- ・ 日本でスキルを学び、故郷に戻り、  
地域産業を育てる——循環型の未来を推進

## 日本に対する憧れ

- ・ アニメ、コスプレ等日本文化が人気
- ・ 「日本は安全」「日本人は優しい」
- ・ 本人だけでなく親も安心
- ・ 5年程度は働きたいがいざれば戻りたい

## ツアーを通して見えてきた3つの課題

01

### 雇用情報の不足

必要な人財に関する正確な情報

ジョブ型 vs メンバーシップ型  
認識のズレ

02

### 教育支援の不足

日本人日本語教師の不足

ライフキャリア教育の欠如

03

### 人権保護意識の不足

受け入れ側のバイアス

受け入れ企業・外国人財  
双方への人権教育の不足

正確な情報 & 教育 & 仕組み & 対話

おわりに

## 国際労働移動：日本語能力 & 技術（知識）向上で生じるジレンマ



### 人権保護機能

- ・ 能力に見合った公正な雇用機会と待遇の獲得
- ・ キャリア構築の土台
- ・ 不当な労働搾取に合うリスクを回避
- ・ ハラスメント発生/人権侵害を低減

介護等の再生産労働は「技能化」が特に重要  
例：フィリピン・インドネシア



### 個人へのコスト負担大

- ・ かけたコストと実際の雇用条件のミスマッチ
- ・ 法令を超える高額な費用がかかる場合も
- ・ 長期間借金を抱えながら就労（債務労働）
- ・ 質の向上＆人権保護のコストを個人が負担

使用者負担で外国人財個人への負担を軽減  
コスト≠優秀な人財獲得のための投資